努力と勇気でチャンスをつかむ

競争を生き抜く代理店

㈱日本シンクタンク　代表取締役　那須顯一

◀131▶

TEL06-6282-6488（代）
http://www.j-thinktank.com/

経験したことのない台風や大地震
いつどこで災害に見舞われてもおかしくない

今年はどうなっているのでしょうか。

8月28日に発生した台風21号、その直後の9月6日の北海道胆振地方を震源とする地震で被害に遭われたすべての被災者の皆様へお見舞いを申し上げると共に、犠牲となられた方々へ心よりご冥福をお祈り申し上げます。

大阪府下をはじめ、近畿地方、北海道などでは広い範囲で大きな被害が報じられていますが、まずは皆さまのご安全と早期の復旧をお祈りいたします。

台風21号では大阪では前日から、各交通機関の運休予定が発表されていましたので、弊社は全員自宅待機にしましたが、午前中ののんびりした天候とは打って変わり、午後からはこれまで経験したことのない猛烈な暴風、そして停電。

約2時間程度だったと思いますが、暴風が去った後、我が家の近隣（大阪府和泉市）は、店舗の看板は落ちる（飛ばされる）、カーポートの天板、門扉が飛ばされ、電柱や外壁もなぎ倒されていました。（幸い私の自宅には被害なし）

関空の連絡橋にタンカーが衝突するなど、その惨状、大阪では、阪神淡路大震災に次ぐ大惨事だったのではないでしょうか。

関西電力の発表によると、この台風での停電は約218万件でその約半数が大阪府、そして大阪府で一番多く停電が発生したのがだんじり祭りで有名な『岸和田市』です。私の住まいする和泉市は岸和田市に隣接しており、我が街も、我が家の東南全体が今現在（9月6日）も停電中で、近隣中学校も停電により休校中です。

また事故報告の現状は、経験したことのないハイペースで続々と契約者から入ってきており、弊社でこの状況ですから、全体でもかなり多数な事故件数になると感じております。

そして北海道地震では、土砂崩れ、道路の陥没、液状化、新千歳空港の閉鎖などが報道されており、震度も『7だったかもしれない』など、まだまだ全容は見えてきませんが、遠く離れた私も、いつどこで災害に見舞われてもおかしくないのかもしれません。

復旧にはかなりの時間を要する覚悟を

大阪の停電復旧に関して、関西電力から、全国の電力会社の応援を要請し、応援が到着する矢先の北海道地震による停電発生ですから、どちらも復旧に時間を要する覚悟をしておいた方がいいでしょう。

そして安倍首相が、「6日午前の非常災害対策本部で、台風被害で閉鎖に追い込まれた関西国際空港に関し、国内線の運航が7日中に再開すると明言した」との報道がありました。

復旧作業について「夜を徹して排水作業や無線施設の交換などを行っている。早期の機能回復に向け、精力的に検討を進めている」と説明。今後の計画を、

①緊急
②暫定
③本格

の3段階で策定し7日に概要を公表する方針を示したとの報道もありますが、関空に行くには、鉄道も車もあの連絡橋一つしか手段がないのです。

タンカーが激突して本当にすぐの再開は大丈夫なのか。しかも私は明日（9月7日）博多に行くのに、関空からの国内線を予約しておりましたが、あきらめて新幹線での出発を考えておりましたので。

この前向きなように見えて、中途半端な発表は勘弁して欲しい…。

どちらとも判断しがたく悩ましい一日となっております。

情報革命イコールAI革命
知識の蓄積により人の業務が減少へ

今回台風被害を受け、大手損保がドローンを用いた現場調査の準備に入ったとの報道がありました。

これは以前から検討、実施されているものと思いますが、ドローンをオペレートするのは、損保社員なのか、鑑定会社なのか、はたまた他の専門業者なのか。誰かに聞いてみたい。

ドローンを駆使しようと思うと、それ相応のスキルが必要になってくるはずで、実際に動かした場数、時間が重要だと思いますので、ドローンの操縦技術、新たなビジネスチャンスになると考えている企業もあるのでしょう。

ソフトバンクグループ最大規模の法人向けイベント「SoftBank World 2018」孫正義氏による基調講演が行われ、ソフトバンクが推し進める「情報革命」とはイコール「AI革命」であるとの内容がかなり興味をひかれました。

今保険会社としてもっとも急成長している衆安保険（ZhongAn保険）を紹介し、衆安保険ではAIを駆使し1年間で、2500人で54億件の保険の発行が可能になった。エンジニアの数が社員の50パーセント以上という会社は他にありません。すでにユーザーが5億人いて、年間50億回保険を発行するのに、既存のシステムのまま、もし人間がやっていたとしたら、何万人という数の社員が必要になる。

【人間にしか答えられない質問も、AIが情報として学んでいく】

現状では、直接AIが答えられる質問に対しては、すべて答え、場合によっては営業に回すこともあり得る。そしてここで答えたものが、バックグラウンドでは、ナレッジに積み上がっていく。例えばAIが答えられなくて人間が答えた質問については、その後、蓄積していくことによって、次のAIが情報としてそれを学ぶことができ、既存の販売体系、チャネルすら近い将来必要がなくなる。というような内容でした。

AIの知識の蓄積をサポートしながら、人の業務を少なくして行く。

なんとも切ない気持ちになりましたが、勉強になりました。

まだまだ残暑、災害が続くかもしれませんので、皆様もくれぐれもご無理なさらず、備えだけは怠らず、穏やかな秋をお過ごしください。

保険ショップの現場から…

西田 理恵

96

最新情報を入手し、最適な保険提案を
専門職の方が医療保険相談に
医療現場の実情活かし商品選択

今月は十年ぶりにご相談に来てくださったお客様の保険にまつわるエピソードをご紹介したいと思います。お客様は大学病院の心臓外科医で、当初保険には何もご加入されていず、ご結婚されて奥様は臨月というタイミングでした。

「どのくらい入っておけば家族が安心できるのかな～」

「保険のことは全くわからないのでお任せします！　教えてください」

という感じで忙しい時間をぬって二回通っていただき、社会保障でカバーされていること、保険で補って安心できる面について明確にお伝えできたことで、「保険のこと、すっごくわかった気がします。患者さんも給付金の請求でいろいろ書類のことを聞いてこられるけどさっぱりわからなかったのがちょっとは答えられそうです。自分が入ることでわかることってありますよね！」と、とても満足してご希望にあった保険にご加入できました。

臨月だった奥様については出産後来ていただくことになり、生後三か月のお子様を連れてきてくださいました。

奥様は看護師で「入院って長い人は長いんですよね。病気や状態によっては相当かかりますよね」とおっしゃったのを聞いて、「私の父も手術後の経過が悪く、本来ならすぐ退院できるところがリハビリを嫌がって体を動かさない状態なんです。そのあと合併症が出て人工透析になってしまって毎日生かされているような状態です」

その話をすると、「そういう状態って何度も見ているから確かに心配です。長引いても安心できる保障内容にします」と一つ一つが実際の心配ごと、現場で起きていることに添った内容を考えていき保障内容が決まりました。ご夫婦そろって保険にご加入いただいたことでひと安心でした。

それから十年後の今月、再度ご予約をいただいた時にお客様の保障内容をもう一度確認していきました。

「あの時は初めて保険に入るのでいろいろ教えてもらって安心していましたが、医療現場はこの十年で随分変わってきました。特にがん治療です。今回は夫婦でがんに備えたいので今以上に強化したいと思い、来させていただきました。何か付け加えるとしたら何なのかご相談したいのです」という趣旨でした。

前回ご加入いただいた内容に加えて最新のがん治療の傾向などを現場の様子を教えていただき、私はそれに即した内容の保険商品を選んでいきました。

奥様はがん患者様の病室も担当しており、ご主人は外科なので比較的奥様がリードする形で抗がん剤の実際の治療費や治療頻度、副作用の薬などの実例を挙げながら選択した結果、満足したご様子でお二人でご契約して帰られました。

私はさまざまながん治療例を本などで読んだり情報を日々更新しているつもりでしたが、医療現場に携わっていられるお二人の知識や実例に感服しました。

「保険は出口が大切！」…ですが、ご加入いただく前にどれだけの情報をお伝えできるかもとても大切なことだと思いました。また、専門職の方が十年経ってなお頼ってきてくださることに感謝の気持ちで一杯になりました。

お客様がいざ、というときよかった、と安心していただける保険商品選びの情報を収集し、最適な保険をご提供することが私たちの使命だと改めて感じました。